

り、売れ行きも好調のようであります。また、ジオアートはポスター以外にもクリアケースなど様々なグッズにも活用できることから、本ジオパークのPR素材として大いに期待しているところであります。

写真コンテストやマラソン大会開催についてであります。貴重なご意見として今後の検討課題とさせていただきます。

なお、県内には「八峰白神」のほかに「男鹿半島・大潟」「ゆざわ」のジオパークがあり、今月14日に、これらのジオパークの連携を強化する目的で「秋田県ジオパーク連絡協議会」を設立することとしており、当協議会においても3地域が連携して広く全国に秋田県ジオパークをPRすることとしております。

次に、サポーターによる結婚支援のご質問についてであります。秋田県の婚姻数は、昭和40年代は1万組を超えておりましたが、平成17年には5,000組を割り込み、平成22年は4,281組まで減少し、人口1,000人に対する婚姻率は4組で、平成12年以降11年連続して全国最下位となっております。

一方、平成21年に県が行った「結婚観等に関する意識調査」では、18歳以上の独身男女が結婚しない理由として「結婚したいと思う異性とめぐり合わない」と回答した割合が男女とも最も多く、以前に比べ出会いの場が少なくなった現状では、出会いの場の創出、出会いやすい環境づくりについて支援を強化する必要があると、県内3か所に「あきた結婚支援センター」を設立しております。

当センターは、平成22年4月から本格稼働し、多種多様なイベントを開催するとともに希望する独身男女にはメールマガジンでイベント情報の発行などを行ってまいりましたが、平成23年4月からは、いよいよ会員による個別マッチング事業をスタートしております。

この登録会員数は、今年10月末で1,861名、男性が1,193名、女性が668名となっており、八峰町からは、男性10名、女性2名が登録しております。これまでの会員の成婚者数は311組で、センターの利用件数は、電話相談が1万4,459件、来所相談が1万5,877件と合計で3万件を超えており、今後の活動に大きな期待が寄せられております。

当センターの出会い・結婚支援のサポーター等の登録数は、個人の「結婚サポーター」が208名、出会いの場を提供する「すこやかあきた出会い応援隊」が105団体、職場で独身従業員の出会いを応援する「会員団体」が114団体となっており、当町からは、「結婚サポーター」に5名が登録、「出会い応援隊」には、あきた白神体験センター、白神八峰商工会青年部の2団体、「会員団体」には、秋田AR S、八森峰浜ふくし会が登録し

ております。

毎年、あきた白神体験センターでのイベントには、あきた結婚支援センターの情報発信で登録会員への周知を図り、登録サポーターと関係団体が出会いイベントを運営しておりますが、町でも今月、アワビ料理と演奏会をメインとした出会いイベントを計画しており、今後、町内の飲食店などの協力を得ながら、さらに機会を増やしてまいりたいと考えております。

議員の皆様方からも、あきた結婚支援センターをPRしていただき、結婚に悩んでいる方がおりましたら相談活動や会員登録をお勧めくださるようお願いいたします。

会員登録費1万円につきましては町が登録会員に直接補助しておりますが、より加入しやすくするため、来年度からは町と結婚支援センターとにおいて会員登録費に関する委託契約を締結し、会員登録費を町が直接支援センターに支払う方法で加入の便宜を図りたいと考えております。

以上であります。

○議長（須藤正人君） 6番議員、1問目のジオパークによる地域の活性化についての再質問ありませんか。6番腰山良悦君。

○6番（腰山良悦君） ただいまの町長の答弁で、数多くの活動がされておるということを伺いました。がしかし、まだまだ盛り上がりには欠けているような気がします。今後、世界を目指して町民一丸となって頑張っていたいただきたいと思います。答弁はいりません。

終わります。

○議長（須藤正人君） 2問目のサポーターによる結婚支援についての再質問ありませんか。6番腰山良悦君。

○6番（腰山良悦君） 近隣の市町や各団体、企業と情報交換していくことも今後は必要ではないかと考えております。あと、一緒にイベントを行うこともまた必要ではないかと、そのように考えますが、町長はどのように考えますか伺います。

○議長（須藤正人君） 2問目の再質問に対し、当局の答弁を求めます。加藤町長。

○町長（加藤和夫君） 近隣市町村との共催とかそういう点も考えられますけども、今、各地でやっている情報については全て、さっき申し上げたとおり結婚、このセンターの方を通じながら会員には全部情報を流しております。

それから、この支援センターは範囲が県北、県南、中央と3か所で大きく分かれていますけども、あまり小さい単位で考えないで、やっぱりそういう大きい単位でやった方

が、より広くですね出会いの機会が出るんじゃないかというふうなことでありますので、是非、支援センターを通じながらやっていきたいし、また、今やってる町の独自の積み重ねながら、場合によって必要であればまたもう少し広げた形でのということを考えてまいりたいなと思っております。

あと、各企業からも今いろいろ、先ほど申し上げた秋田ARSと八峰峰浜ふくし会、2つだけではございますけども、もっともっと企業あるわけでありまして、そういった企業の方々にもですね広くこういう事業に参加をしながら推進してもらおう方向で、より働きかけをしてまいりたいなというふうに思っています。

○議長（須藤正人君） 6番議員、再質問ありませんか。6番腰山良悦君。

○6番（腰山良悦君） 今後、結婚しない人がこのまま何と申しますか多くなっていきますと、ますます大きな社会問題になってくると思います。少子化はもちろんのこと、福祉の面でもいろいろと問題が生じてくると思います。そういうことで1組でも多くのカップルが生まれるよう、最大限努力していただきたいと思います。答弁はおりません。

○議長（須藤正人君） これで6番議員の一般質問を終わります。

休憩いたします。2時55分再開します。

午後 2時44分 休 憩

.....
午後 2時55分 再 開

○議長（須藤正人君） 休憩前に引き続いて会議を開きます。

日程第3、議案第122号、八峰町沢目財産区管理委員の選任についてを議題とします。
当局の説明を求めます。加藤町長。

○町長（加藤和夫君） 議案第122号、八峰町沢目財産区管理委員の選任についてを提案いたします。

八峰町沢目財産区管理委員に次の者を選任したいので、八峰町沢目財産区管理会条例第3条の規定により、議会の同意を求めるものであります。

住 所 八峰町峰浜目名瀧字目名瀧58番地

氏 名 佐々木一衛（昭和13年9月12日生）

提案理由でありますけれども、八峰町沢目財産区管理委員の佐々木一衛氏が、平成26年3月2日で任期満了となることから、引き続き八峰町沢目財産区管理委員として選任いたしたく、八峰町沢目財産区管理会条例第3条の規定により、議会の同意を求めるも

のであります。

引き続きのご承認をよろしくお願い申し上げます。

○議長（須藤正人君） これより議案第122号について質疑を行います。質疑ありませんか。
（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 質疑がないようですので、質疑を終わります。

これより討論を行います。討論ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 討論がないようですので、討論を終わります。

これより議案第122号について採決を行います。

お諮りします。採決の方法については、会議規則第86条の規定により簡易表決としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 異議なしと認めます。したがって、採決は簡易表決で行うことに決定いたしました。

お諮りします。本案は、原案のとおり同意することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 異議なしと認めます。したがって、議案第122号は同意することに決定いたしました。

日程第4、議会運営委員会の閉会中の所掌事務の調査についてを議題とします。

議会運営委員会委員長から、所掌事務のうち、会議規則第74条の規定により、次期議会の会期日程等、議会の運営に関する事項等について閉会中の継続審査の申出があります。

お諮りします。委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（須藤正人君） 異議なしと認めます。したがって、委員長から申出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

日程第5、常任委員会の閉会中の所管事務の調査についてを議題とします。

各常任委員会委員長から、所管事務のうち、会議規則第74条の規定により、閉会中の継続調査の申出があります。

お諮りします。各常任委員会委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(須藤正人君) 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会委員長から申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定いたしました。

これで本日の日程は全て終了いたしました。

会議を閉じます。

これをもって平成25年12月八峰町議会定例会を閉会します。

ご協力ありがとうございました。

午後 2時59分 閉 会

署 名

上記会議の次第を記載し、これに相違ないことを証明するためここに署名する。

八峰町議会議長 須藤 正人

同 署名議員 12番 鈴木 一彦

同 署名議員 13番 芦崎 達美

同 署名議員 1番 松岡 清悦